



2023年1月18日
株式会社セブン・イレブン・ジャパン
公益財団法人日本財団

愛媛県のセブン-イレブン初！ 松山市内の51店舗にペットボトル回収機を設置 ～1月18日（水）より順次、稼働開始～

株式会社セブン・イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦、以下「セブン・イレブン」）と日本財団（東京都港区、会長：笹川 陽平）は、松山市（市長：野志 克仁）と連携し、限りある資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目的としたペットボトル回収事業を開始いたします。

実施にあたり、松山市内のセブン・イレブン 51 店舗にペットボトル回収機を新たに設置し、地域の皆様と共に、ボトル to ボトル^{*1}によるプラスチックのリサイクルと海洋ごみ対策を促進してまいります。

プラスチック対策のひとつとして、ペットボトル回収機の設置を進めているセブン・イレブンと、瀬戸内海に面する 4 県（岡山県、広島県、香川県、愛媛県）と共に、包括的海洋ゴミ対策プロジェクト『瀬戸内オーシャンズ X』を推進する日本財団は、海洋プラスチックごみの流出を防ぐべく継続して取り組んできた松山市に賛同し、産官民が連携する本取り組みが実現いたしました。

三者の協同により、地域社会と一体となったペットボトルリサイクル活動に取り組み、「循環経済社会」の実現と海洋プラスチックごみの削減を進めてまいります。

^{*1} ペットボトルを再原料化し、もう一度ペットボトルに戻すこと。

<概要>

【三者の役割】

セブン・イレブン店舗

- ・回収機の運用および回収資源の管理

日本財団

- ・セブン・イレブン店頭に設置するペットボトル回収機について、本体費用の約 1/3 を拠出。本事業の周知。

松山市

- ・本事業の周知および正しい分別について、市民への浸透を図る。

【ペットボトル回収機】

<開発メーカー>

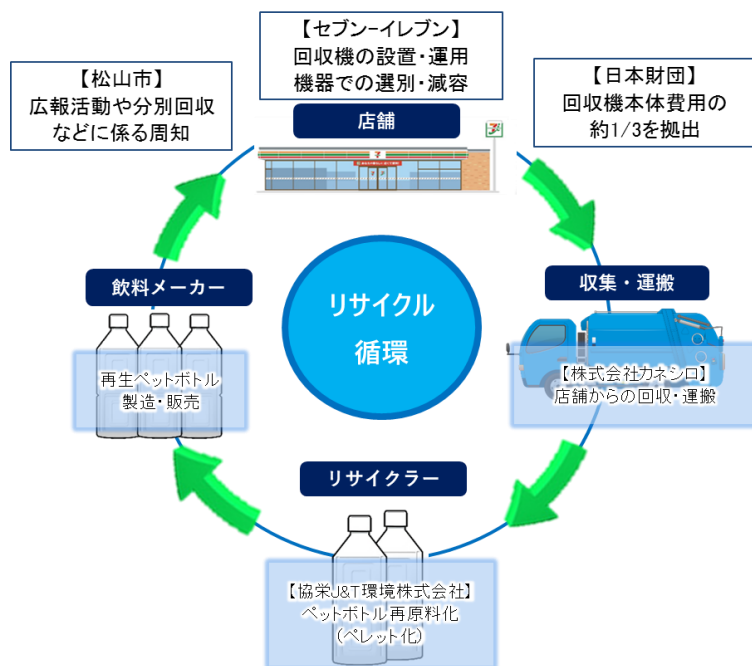
株式会社寺岡精工

<機器サイズ> (単位：mm)

W650×D500×H1330

<収容量>

ペットボトル約 280 本



＜ご参考＞

◎セブン-イレブン店頭のパットボトル回収機

セブン-イレブンでは、2017 年より店頭へのパットボトル回収機の設置を進めており、現在 2,471 台の設置となっております。

（2023 年 1 月 17 日時点、松山市設置分除く）

また、レジ袋代金における「本部収益相当額」を、パットボトル回収機の設置費用の一部に充てることで、更なるプラスチックのリサイクルに取り組んでおります。

※写真はイメージです



＜セブン-イレブン パットボトル回収機設置店舗一覧＞

https://www.sej.co.jp/csr/environment/resources_list.html

◎瀬戸内オーシャンズ X について

瀬戸内海に面する 4 県（岡山県、広島県、香川県、愛媛県）と日本財団が 2020 年 12 月に連携協定を締結し、共同で推進している包括的海洋ごみ対策プロジェクトです。

外海からの海洋ごみ流入が少ない海域（閉鎖性海域）である瀬戸内海をフィールドに、①調査研究 ②企業・地域連携 ③啓発・教育・行動 ④政策形成の 4 つの柱で事業を実施しています。本取り組みについても、「瀬戸内オーシャンズ X」の一環で実施するものです。

＜目標＞

ごみの流入 70%減、回収 10%以上増（5 カ年・計 15 億円計画）

“瀬戸内モデル”として世界に発信していく

<https://setouchi-oceansx.jp/>



以上